

点検評価表（県出資25%未満の財団法人等）

1 団体の概要

（令和2年4月1日現在）

団体名	公益財団法人静岡県グリーンバンク		
所在地	静岡市葵区追手町44-1 産業経済会館7階	設立年月日	昭和52年1月29日
代表者	理事長 中山 正邦	県所管課	くらし・環境部環境ふれあい課
設立目的（定款）	環境緑化や森林を守り育て活かす運動の重要性に対する社会の理解と認識を高めるとともに、県民の自発的な参加や協働による緑化活動を推進し、もって豊かで魅力あふれる自然環境と生活環境の創造に寄与することを目的とする。		
設立に係る根拠法令等	緑の募金による森林整備等の推進に関する法律 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律		
団体ホームページ	http://www.greenbank.or.jp		

出資者	出資額(千円)	比率(%)
静岡県	133,520	14.6
市町	30,517	3.3
その他	750,555	82.1
基本財産(資本金)計	914,592	100

役職員の状況(人)			
常勤役員	2	常勤職員	3
うち県OB	1	うち県OB	1
うち県派遣	0	うち県派遣	0
非常勤役員	16	非常勤職員	4
役員計	18	職員計	7

2 行政施策との関係

(1) 団体活動に係る行政施策の目的

社会総がかりの緑化活動を推進することで、暮らしのまち並みに花と緑を美しく保ち、住む人が誇りと愛着を抱き、訪れる人の感動を呼ぶ、本県ならではの魅力ある暮らし空間を創出する。

(2) 上記を代替・補完する団体活動の概要

支店である市町と連携し、緑化活動団体への情報発信や支援、緑化思想の普及啓発等を通じて、活動団体間のコーディネートや活動の活性化、円滑化、民間事業者への協働の働きかけに努め、社会総がかりの緑化活動を有機的に拡げる。

3 これまでの改革の取組

平成29年度	<ul style="list-style-type: none">・4月に「(公社)静岡県緑化推進協会」と合併し新生グリーンバンクが誕生した。・平成29年度は、事業については二者が従前から実施してきた事業を実施したが、管理費については統合効果が現れるように事務の統合を図った。・県の緑化推進計画策定に合わせて、その体系に沿い県民のニーズ合った事業展開になるように事業の見直しを進めた。
平成30年度	<ul style="list-style-type: none">・県の緑化推進計画に合わせて、地域緑化の核となる人材を育成するための研修事業の体系を見直すとともに、駅前等、地域の顔となる場所におもてなし空間を整備する地域を支援する「おもてなし空間創造事業」を創設した。・これまでの森づくり活動が評価され、5月に「国連生物多様性の10年日本委員会」から全国で8番目の団体として、「グリーン・ウェーブ オフィシャルパートナー」に任命された。
令和元年度	<ul style="list-style-type: none">・県緑化推進計画に合わせた事業体系の見直しをさらに進め、花や緑の専門家を要請に応じて派遣し、緑化の技術的指導に加えて、新たな組織づくりや地域との連携強化にもアドバイスをを行う事業を開始した。・また、日陰に強い芝生を活用して芝生の休憩地を整備する団体を支援する「芝生休憩地モデル事業」を創設した。
令和2年度 (6月時点)	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症に対応するため、開催予定の研修の一部について、説明動画を作成し、グリーンバンクホームページ上に公開している。

4 実施事業

(単位:千円 / R1以前は決算額、R2は予算額)

	事業名	緑化推進を担う団体・人材育成事業		事業区分	県補助事業
	事業費	H29	H30	R1	R2
1		18,658	12,545	22,175	12,150
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の緑化活動の中核となって担う人材の育成研修の実施 ・未就学児童に対する花育教室の実施 ほか 			
	実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域・中級・上級コースに分かれたボランティアに対する研修・講習会を実施 ・163箇所、6,009人の未就学児童に対して花育教室(花の寄せ植え教室)を実施 			

	事業名	緑化グループ活動支援事業		事業区分	県補助事業
	事業費	H29	H30	R1	R2
2		44,850	45,461	43,313	35,391
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域緑化ボランティア団体活動費助成 ・花の種子や苗木等の無償配布 ほか 			
	実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化ボランティア139団体に活動支援を実施 ・市町の同意を得て地域の景観づくりを行う16団体に支援を実施 ・延べ4,194団体に種子・球根・苗木等の配布を実施 			

	事業名	都市緑化支援事業		事業区分	県補助事業
	事業費	H29	H30	R1	R2
3		15,617	12,268	13,369	12,870
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前等、地域の顔となる場所におもてなし空間を整備する市町を含む地域協議会に支援を実施 ・日陰でも育成する芝生を活用した芝生休憩地を整備する地域に支援を実施 			
	実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・県東部3箇所に地域のシンボルとなるおもてなし空間を新規に整備した。 ・県内2箇所に日陰に強い芝生を活用した芝生休憩地を整備した。 			

	事業名	芝生を活かした緑化推進事業		事業区分	県補助事業
	事業費	H29	H30	R1	R2
4		16,981	19,703	21,151	23,881
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・都市緑化の資材として有効な芝生の普及に向け、住民参加による維持管理や公園・校庭・園庭の芝生化を推進 			
	実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・公園・幼稚園・保育園等5施設で計2,016㎡の芝生化を実施 ・住民参加により芝生の管理を行っている33団体を支援 			

	事業名	県民参加による森づくり活動支援事業		事業区分	国補助事業/県委託事業
	事業費	H29	H30	R1	R2
5		56,748	47,296	44,213	34,160
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫事業「森林・山村多面的機能発揮対策」を活用し、各地の森林整備や環境教育に対し交付金を交付 ・県が推進する「しずおか未来の森サポーター」協定に基づき森づくり活動を支援 			
	実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域に設立された34団体を通じ森林整備や森林空間を活用した環境教育を実施 ・県が推進する「しずおか未来の森サポーター」協定を締結している企業からの寄附金を財源に森づくり活動を支援 			

	事業名	緑の募金事業		事業区分	その他補助事業
	事業費	H29	H30	R1	R2
6		76,399	77,942	75,008	86,640
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・県下各地で募金運動を展開し緑化思想を普及啓発 ・各市町緑化推進団体等が実施する緑の募金による緑化関係事業に対し交付金を交付し森林整備、緑化活動を推進 			
	実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の募金の情報を提供する「緑の募金だより」18,000部を作成し自治会・公共施設等に配布 ・緑化技術の向上を図る講習会、自然観察会の開催 ほか 			

5 点検評価（県所管課記載）

点検項目	県所管課意見				
① 県の出資の必要性が、現在の社会経済環境において認められるか	<p>「静岡県緑化推進計画」(H30.3策定)の基本方針である「花と緑を慈しむ文化の創造」「花と緑による地域の魅力向上」「社会総がかりの緑化活動」を推進するため、県は、豊かで魅力あふれる自然環境と生活環境の創造に寄与する公益財団法人静岡県グリーンバンクと連携して緑化を推進する必要がある。</p> <p>県と地域の間にとって様々な緑化活動を支援するプラットフォームとして期待される公益財団法人静岡県グリーンバンクに対して、県が出資していることは現在の社会経済環境においても認められる。</p>				
② 県からの補助金、委託金等の支出について、必要性、有効性が認められるか	<p>県は、緑化関係の個別計画である「静岡県緑化推進計画」により、社会総がかりの緑化活動を推進することで、暮らしのまち並みに花と緑を美しく保ち、住む人が誇りと愛着を抱き、訪れる人の感動を呼ぶ、本県ならではの魅力ある暮らし空間の創出を推進することとしている。</p> <p>計画の実現に向けては、県民、事業者、緑化関係団体、市町、県がそれぞれの役割を担いながら、社会総がかりの緑化活動のための「人づくりと場づくり」を行うことが重要となる。</p> <p>公益財団法人静岡県グリーンバンクは、県と地域の間にとって様々な緑化活動を支援するプラットフォームとして、県民、事業者、ボランティア団体への情報発信や支援活動等を行っており、その存在は欠かせないものである。</p> <p>このため、県からの公益財団法人静岡県グリーンバンクへの補助金支出には必要性、有効性が認められる。</p>				
		H29決算	H30決算	R1決算	R2予算
	県支出額(千円)	86,480	86,480	86,480	86,480
③ 県からの職員派遣について、必要性、有効性が認められるか	該当無し				
		H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1
	県派遣職員(人)				

6 経営上の課題・改善に向けた取組の方向性

<p>・花と緑あふれる豊かで魅力あふれる自然環境と生活環境の創造を図るためには、県民の緑化ニーズに柔軟に対応する必要があり、今後も事業内容の見直しを行っていく。</p> <p>・平成29年4月の「公益社団法人静岡県緑化推進協会」との合併に伴う窓口の一本化・事務所の一元化等により、固定費の削減ができたが、さらなる経営の効率化を図る。</p> <p>・県費補助、国交付金、緑の募金を除く財源は、基本財産の運用益及び寄附金が主となっている。新型コロナウイルス感染症の影響により緑の募金や寄附金の減少が見込まれており、会費・協賛金などの自主財源獲得に努めていく。</p> <p>・今後は、緑化推進団体として、実際の緑化活動を担うボランティアへの支援を従前以上に続けていくほか、企業の社会貢献に関するニーズにあった緑化活動(例:資金提供だけでなく社員研修の一環として行う園庭等の緑化活動の場の提供)や協働の提案を行うなど、緑化推進におけるコーディネート機能の強化を図りながら、合併が最大の効果を生むよう検討を続けていく。</p>
--